# 飯山満の風

飯山満中学校だより
1 月号（R6,1,19 発行）
TEL 422 - 0088

## 「新年を迎えて」

校長　藤井　武

冬休みが終わり、登校初日の全校集会（オンライン）で以下のような話をしました。

『（前半省略）印象に残っていることですが、石川県の能登半島を中心に発生した地震についてです。印象に残っているというより、とても心配しています。なぜなら今なお、多くの犠牲者や行方不明者が増え続けており、甚大な被害が生じているからです。修学旅行でもお世話になった場所ですので、同じ思いの人は3年生にも多いのではないでしょうか。この場を借りて、亡くなった方々のご冥福をお祈りするとともに、被害にあわれた方々には、心よりお見舞い申し上げたいと思います。また、被災地の1日も早い復旧、そして復興を願いながら、何か少しでも役に立てることはないだろうかと、この災害への向き合い方を考えているところです。そんな時に、インターネット上のある記事に目が留まりました。

皆さんは、元自衛隊員の経歴を持つ、人気芸人のやすこさんを知っていますか？やすこさんが、自身の旧ツイッターのエックスで、ある利用者から、次のような質問を受けました。

「今の災害に私たちができることは何ですか？」

やすこさんはこのように回答しました。

「日常を送れる方は、いつもどおり日常生活を楽しむことですかね。後は募金とかでしょうか。自家用車で支援をしに行くと道路が混み、緊急車両の邪魔で助かる命も助からなくなるので、今皆がいる場所で精一杯日常を生きるのが大切かもですね…！」

さて、皆さんはどのように感じましたか。

やすこさんのこの「日常を精一杯生きる」という言葉には、目からうろこが落ちる思いがしました。私自身、今後もテレビや新聞の報道に気を配り、被災生活を送っている方々や、救助活動、支援活動に尽力している方々に思いを馳せながら、今の生活を精一杯過ごしていきたいと思います。

受け止め方は人それぞれかと思いますが、このような時だからこそ、皆さんも、新年に立てた目標に向け、今できることに精一杯取り組み、充実した毎日を過ごせる1年にしてほしいと思います。

また、大きな地震に対する日頃の備えや行動を再確認し、いざという時への意識を忘れないようにしましょう。（後省略）』

**「幸せは作るものではなく、気づくもの」**という言葉を目にしたことがあります。不安な年明けにはなりましたが、生徒には、当たり前の生活を当たり前に送ることができる幸せに感謝しつつ、当たり前のことを精一杯行いながら、充実した日々を過ごしてほしいと願っています。

今年度も、残すところいよいよ3か月となりました。1年の締めくくりと共に、進学・進級への準備にしっかり取り組めるよう、生徒への支援に尽力してまいります。本年もどうぞよろしくお願いします。

【冬休み明け集会（オンライン）】

令和６年１月９日（火）に冬休み明けの全校集会がオンラインで行われました。内容は表彰や学校生活についてなどです。校長先生の話では、教室と校長室を meet で繋げて、校長と生徒が直接やりとりをする場面もありました。

今年は、能登半島地震や羽田空港航空機炎上事故など、痛ましい出来事からの年明けとなりましたが、新たな気持ちで今の生活を大切にしながら、充実した中学校生活を送ってほしいと思います。

学校敷地内の水仙が満開ををむかえ、透明感のある、甘い香りが漂います。

F 組手製の新年飾りが素敵です。

【あいさつ運動】

１月９日（火）１０日（水）１１日（木）に PTA の皆様・市民の会の皆様による「あいさつ運動」が行われました。寒空の中でも、元気な挨拶をする生徒の様子が多く見られました。これからも日頃から元気なあいさつができることを期待しています。

【担任ローテーション（学年担任制）について】

１月２２日（月）～２月９日（金）までの３週間程度行うことになりました。生徒の主体性の育成や生徒理解の多角化を目的に行います。なお、担任へのご相談等は今までどおりです。何かご不明な点がございましたら、各担任までお問合せください。

【「船橋市学校配信メール」サービス終了に伴う新メールサービスの運用開始について】

平成３０年より各学校で使用していた「船橋市学校配信メール」が本年度をもちまして、サービス終了となります。そこで、次年度より新メールサービスを導入します。詳細については後日、お知らせします。

| 新旧 | 事業者 | １月 | ２月 | ３月 | ４月 | ５月 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 現行 | バイザー社 | → | → | → | ＊ | |
| 新 | テクノミックス社 | 移行 | 期間 → | → | → | 完全移行 |